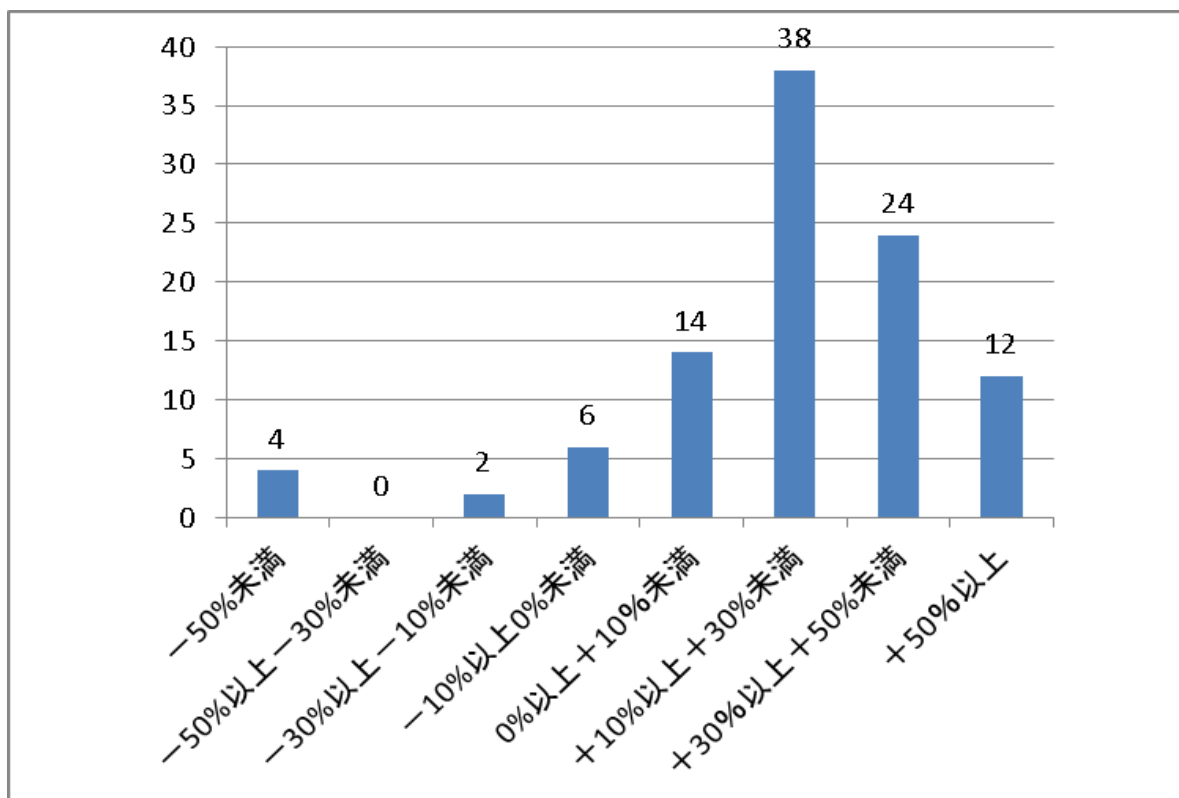


「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の主な取組状況について

【共通KPI】運用損益別顧客比率

当金庫で投資信託を保有しているお客さまの運用状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。

2019年3月末時点での運用損益率がプラスのお客さまは、約88%でした。



基準日：2019年3月末時点

運用損益：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売却金額－累計買付金額（販売手数料（税込）を含む）

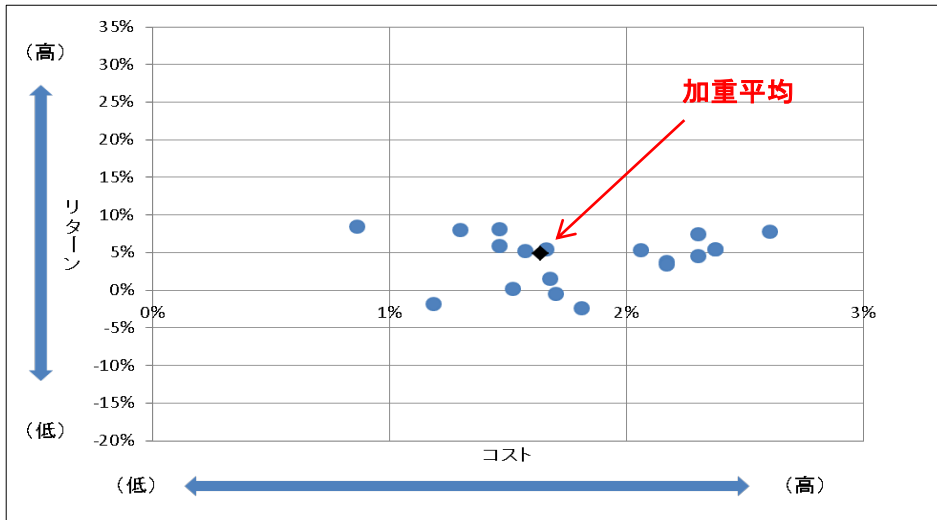
運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

【共通KPI】投資信託預かり残高上位 19 銘柄のコスト・リターン

当金庫の投資信託の上位 19 銘柄について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。

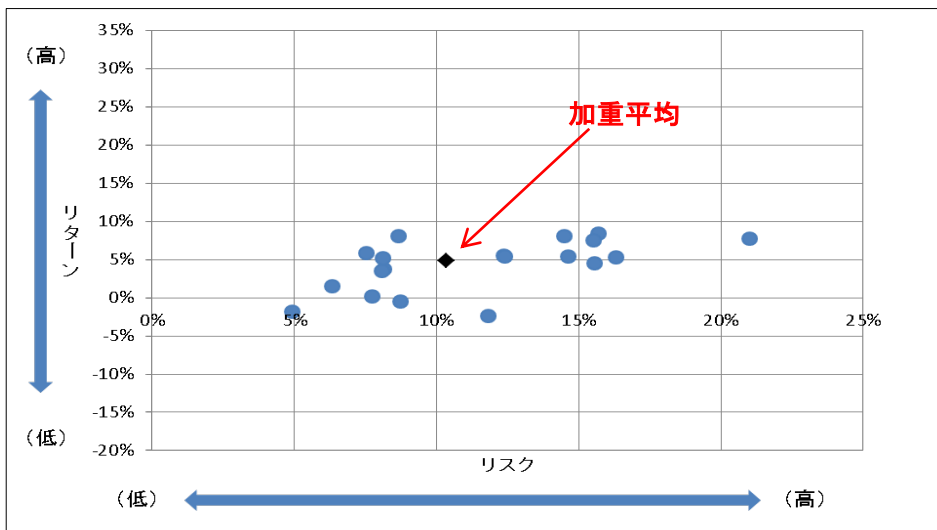
残高上位 19 銘柄の平均コスト 1.64%、平均リスク 10.35%に対し、平均リターンは 4.9%となりました。

<投資信託の預かり残高上位 19 銘柄のコスト・リターン>



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.64%	4.90%

<投資信託の預かり残高上位 19 銘柄のリスク・リターン>



残高加重平均値	リスク	リターン
	10.35%	4.90%

基準日 : 2019年3月末時点

対象ファンド : 投資信託の預かり残高上位19銘柄(設定後5年以上)

コスト : (販売時手数料÷5) + 信託報酬(年率)

リターン : 過去5年間のトータルリターン(年利換算)

騰落率算出の際に用いる基準価格は分配金再投資後(税引前)の基準価格を使用

リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価格は分配金再投資後(税引前)の基準価格を使用

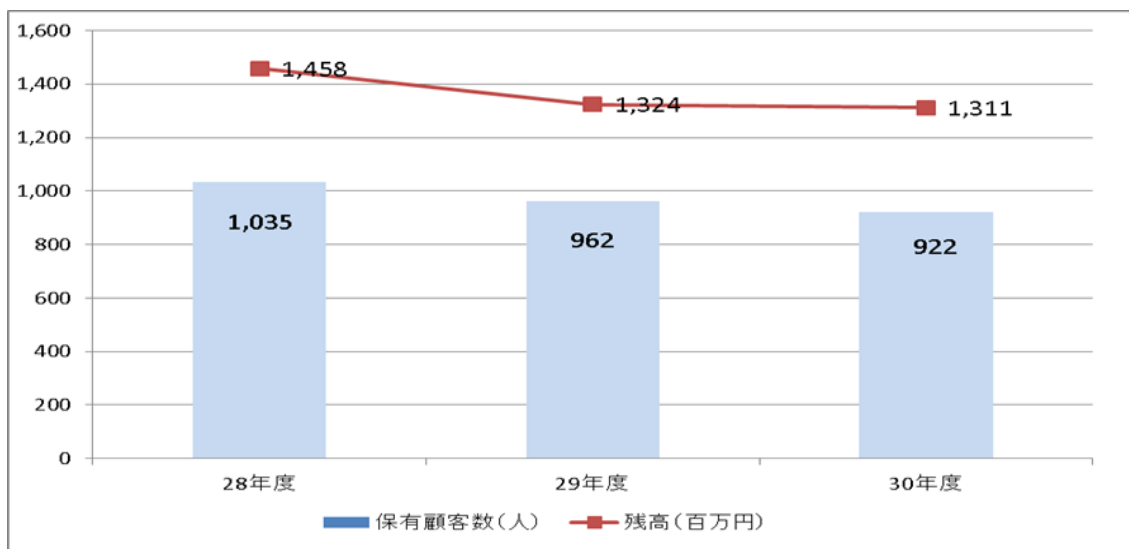
※上記は将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

●当金庫の投資信託の残高上位19銘柄は以下の通りです。(2019年3月末時点)

No.	ファンド名	運用会社名
1	DAM高格付インカム・オープン 毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
2	しんきんリートオープン 毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
3	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
4	三井住友・グローバル・リート・オープン	三井住友アセットマネジメント
5	グローバル・ソブリン・オープン 毎月決算型)	三菱UFJ国際投信
6	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
7	しんきんグローバル6資産ファンド 毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
8	しんきん3資産ファンド 毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
9	三井住友・グローバル・リート・オープン (3ヵ月決算型)	三井住友アセットマネジメント
10	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
11	ダイワ・バリュー株・オープン	大和証券投資信託委託
12	しんきん世界好配当利回り株ファンド 毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
13	ニッセイ/パトナム・毎月分配インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
14	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
15	ユナイテッド・マルチ・マネージャー・ファンド1	ファイブスター投信投資顧問
16	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	三井住友アセットマネジメント
17	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン 毎月分配型)	大和証券投資信託委託
18	DAM高格付外債ファンド	アセットマネジメントOne
19	しんきんアジアETF株式ファンド	しんきんアセットマネジメント投信

お客さまに寄りそった安定的な資産形成・資金運用の取組状況は以下のとおりです。

1. 投資信託残高・保有顧客数の推移 (2019年3月31日現在)



2. 販売額に占める定時定額の比率 (2019年3月31日現在)

	2017年3月期 販売額 :557百万円)		2018年3月期 販売額 :463百万円)		2019年3月期 販売額 :377百万円)	
定時定額販売額	販売額 百万円)	6	販売額 百万円)	6	販売額 百万円)	6
	構成比 (%)	1.11%	構成比 (%)	1.28%	構成比 (%)	1.65%
定時定額販売以外	販売額 百万円)	551	販売額 百万円)	457	販売額 百万円)	371
	構成比 (%)	98.89%	構成比 (%)	98.72%	構成比 (%)	98.35%

3. FP資格者数

(2019年3月31日現在)

